

## 政治倫理推進特別委員会記録

1. 期日 令和6年2月13日(火) 開会 14時00分  
閉会 14時54分
2. 場所 第1委員会室
3. 議題 政治倫理推進について
4. 出席者 渡辺委員長、小笠原副委員長、羽根委員、岡田委員、一石委員、松崎委員、古谷委員、根岸議長

傍聴議員 2名  
事務局 2名 事務局長、庶務課長  
傍聴者 0名

---

### 政治倫理推進について

委員長

政治倫理推進特別委員会を開催する。今日は政治倫理の推進ということで前回ハラスメント根絶条例について、案を皆でたたい、その意見を反映したものを作成した。意見を反映した後に、事務局とも少し詰め、一つはこれを読んだ時に分からない内容があるのはよくないとか、なるだけ前文を短くした方がよいのではないかという指摘があったので、お手元の資料1を直している。大体、前回出された意見を反映している。ただ、流れとして少し大きな部分というのは、前はハラスメントの防止に関して、町民の期待・信頼に答えることができなかった当時の状況、事例について触れていた。それについて少し書き直している。お手元の資料1、資料2の施行規定についてである。施行規定も前回の話し合いを反映したものになっているのでよろしく願います。これで確認していただいたら、22日の全協で報告し、本会議で報告をさせていただきたいと思う。本会議で報告後、法制事務の方に正式にかけていくという段取りになる。目を通していただいて資料1、2についてご質問、ご意見を願います。

羽根

資料1の前文について、メールにも少し書いたがハラスメントを書かなければいけないのは分かるが、ハラスメントという言葉が繰り返し使われていて、簡略化ができないかと思って今見ていた。「政治倫理規定要綱は」から「条例が必要となりました」という文で何とかならないかと思ったが、これがなぜ新たに条例を制定するかという理由になっているので、なかなかちょっと難しいかなと。ここに繰り返し入っているわけで、上の段に2つ、ここに2つ、最後に1つと気になった。やむをえないこともあると思うが、少し気になったところである。よい案は浮かんでいない。

委員長

その点についてご意見を頂戴して、頭をひねったが外すと何を

指しているのかがよく分からなくなってしまう。最終的に前文の下から2行目の「その根絶に努め」のところは「その」で置き換えた。他はちょっと難しかった。気になるが。もしよいまとめ方があれば。

大沼 網掛けのところは何か。

委員長 網掛けしたところは前回の意見を活かして加筆したり、修正したところである。

一石 前文の「科学的知見の積み重ねと人々の訴えを背景に、世界規模で人権と個人を尊重する潮流」があったんですね。それに「相反する流れが」という文章が少しおかしいと思う。  
(「文章の修正は暫時休憩でやったらどうか」との声あり)

委員長 それでは暫時休憩にする。

休憩 14時31分

再開 14時39分

委員長 休憩前に引き続き会議を再開する。先ほど大沼委員の「世界規模で人権と個人を尊重する社会に進みつつある」が皆さん分かりやすいということだった。松崎委員から「相反する流れ」が原理主義も含まれているという状況も忘れてはならないということで、「世界規模で人権と個人を尊重する社会に進みつつある。その一方で、社会全般には相反する動きがあり、さまざまなハラスメントが起こっている状況がある。」こういうふうなかたちでいかがか。  
(「異議なし」との声あり)

古谷 前文は「である調」にしなくてよいのか。一般的にはである調だと思うが。

委員長 であるの方がよいか。

小笠原 なるべく短くするということでは、である調の方が簡潔だと思う。

委員長 である調に直す。である調でよろしいか。  
(「異議なし」との声あり)  
今直すと大変なので、次の提案の時に直す。他に特になければ傍聴議員の発言を許可する。

休憩 14時42分

再開 14時43分

委員長

休憩をといて会議を再開する。特になければ先ほどの変更と前文を「である調」に変更して議会に報告したいと思うがいかがか。  
（「異議なし」との声あり）

それではそのようにさせていただく。今日予定していた議案についてはこれで終了したいと思う。それでは政治倫理推進特別委員会を閉会する。

閉会 14 時 43 分